

とくていぎのうひょうかしけん
特定技能評価試験

かたわくせこう じつぎしけんもんだい
型枠施工 実技試験問題

じこう したが かだいず しめ かたわく さくせい さぎょう
1-1～1-6の事項に従い課題図に示す型枠を作成する作業を下さい。

かたわくくみたてじつぎしけんちゅういじこう
1. 型枠組立実技試験注意事項

つうやく せつめい
1-1～1-5までは通訳が説明します。

しけんじかん
1-1 試験時間

ひょうじゆんじかん 標準時間	じかん ふん 1時間40分
う き じかん 打ち切り時間	じかん 2時間

ちゅういじこう
1-2 注意事項

- (1) 試験場には、携帯電話を持って入ってはいけません。試験会場に持ってきた自分の持ち物は区画の外に置きなさい。
- (2) 支給された材料の寸法及び数量等を確認しなさい。
- (3) 支給された材料に異常がある場合は、手を上げて係の人に申し出なさい。
- (4) 支給材料以外は使用してはいけません。
- (5) 使用工具は、指定したものの以外、使用してはいけません。
- (6) 課題図以外の表や図面、メモは試験場に持って入ってはいけません。試験中は、課題図だけ見ることができます。
- (7) 課題図には数字等の書き込みをしたものを使用してはいけません。数字を書いている課題図は試験を開始する前に取り換えるので手を上げて係の人に申し出なさい。試験中の寸法の計算は課題図を使用してよいです。
- (8) 作業は区画の中で行い、材料が区画の外に出ないように作業しなさい。
- (9) 試験は係の開始の合図ではじめなさい。
- (10) 試験開始後、材料の切りまちがい、打ちまちがい等により、足りなくなった場合、係の人に申し出なさい。ただし合板、栈木については減点になります。

- (11) けがをしないように注意して作業をなさ^{ちゆうい さぎよう}い。けがをした場合減点になります。^{ばあいげんてん}
- (12) 不安^{ふあんぜん}な作業^{さぎよう}している場合、係^{ばあい}の^{かかり}人^{ひと}が注意^{ちゆうい}をします。
- (13) 試験^{しけんちゆう}中は、工具^{こうぐ}の貸^かし借^かりをしてはいけません。
- (14) 試験^{しけんちゆう}中は他^たの人^{ひと}と話^{はなし}をしてはいけません。
- (15) 標準^{ひょうじゆんじかん}時間^こを超^{さぎよう}えて作業^{おこな}を行^{ばあい}った場合^{ちようかじかん}、超^{おう}過^{げんてん}時間^{げんてん}に応^おじて減^{げんてん}点^{げんてん}されま^おす。
- (16) 自分^{じぶん}の作業^{さぎよう}が終^{しゆうりよう}了^{りよう}したら手^てを^あ上^{かかり}げ^{ひと}て係^もの人^うに申^でし出^{さぎよう}なさい。た^{さぎよう}だ^しし作^{さぎよう}業^{ぎよう}終^{しゆうりよう}了^{りよう}とは、組^{くみ}立^た作^{さぎよう}業^{ぎよう}が完^{かん}了^{りよう}し、自^じ分^{ぶん}の区^く画^{かく}の中^{なか}の後^{あと}片^{かた}付^づけ、清^{せい}掃^{そう}が終^{しゆうりよう}わ^りつた時^{とき}としま^すす。
- (17) 試験^{しけん}の終^{しゆうりよう}了^{りよう}時^じ刻^{かく} (打^{うち}切^きり時^じ間^{かん}) にな^さつたら、す^さぐ作^{さぎよう}業^{ぎよう}をや^やめ^めて係^{さぎよう}の^{かかり}人^{ひと}の指^し示^じに^し従^じいなさい。

1-3 型^{かた}枠^{わく}の仕^し様^{よう}

- (1) 型^{かた}枠^{わく}は課^か題^{だい}図^ずに^し従^じって組^くみ立^たて、型^{かた}起^おこし台^{だい}の墨^{すみ}にあ^あ合^あわ^あせて取^{とり}付^つけなさい。
- (2) 合^{ごう}板^{ばん}は表^{おも}裏^{うら}の使^{つか}い分^わけを^しな^しな^しく^してもよ^よい^いで^す。
- (3) 墨^{すみ}付^つけは、す^{すみ}み^みさ^さし、鉛^{えん}筆^{びつ}でもよ^よい^いで^す。
- (4) 棧^{さん}木^ぎは型^{かた}枠^{わく}加^か工^{こう}図^ず (課^か題^{だい}図^ず) に^し従^じって取^{とり}付^つけなさい。
- (5) 棧^{さん}木^ぎは合^{ごう}板^{ばん}に2本^{ほん}以^い上^{じやう}の釘^{くぎ}で止^とめ、そ^その^の間^{かん}隔^{かく}は200mm以^い下^かとしなさい。
- (6) 組^くみ立^たてた型^{かた}枠^{わく}は、型^{かた}起^おこし台^{だい}の方^{ほう}位^いと墨^{すみ}にあ^あ合^あわ^あせて、釘^{くぎ}で止^とめなさい。

1-4 支^し給^き材^{ざい}料^{りょう}

品 ^{ひん} 名 ^{めい}	寸 ^{すん} 法 ^{ぽう} または規 ^き 格 ^{かく}	数 ^{すう} 量 ^{りやう}	備 ^び 考 ^{こう}
合 ^{ごう} 板 ^{ばん}	600×300×12mm	2 枚 ^{まい}	
	570×300×12mm	4 枚 ^{まい}	
	200×300×12mm	2 枚 ^{まい}	
棧 ^{さん} 木 ^ぎ	2000~1800×24×48	7 本 ^{ほん}	
釘 ^{くぎ}	鉄 ^{てつ} 丸 ^{まる} くぎ長 ^{なが} さ45~50	150 本 ^{ほん}	N50 約 ^{やく} 360g N45 約 ^{やく} 260g

注^{ちゆう}1: 型^{かた}枠^{わく}を型^{かた}起^おこし台^{だい}へ取^{とり}付^つけるときも45~50mmの鉄^{てつ}丸^{まる}くぎ^{くぎ}を^{つか}いなさい。

1-5 使用工具等

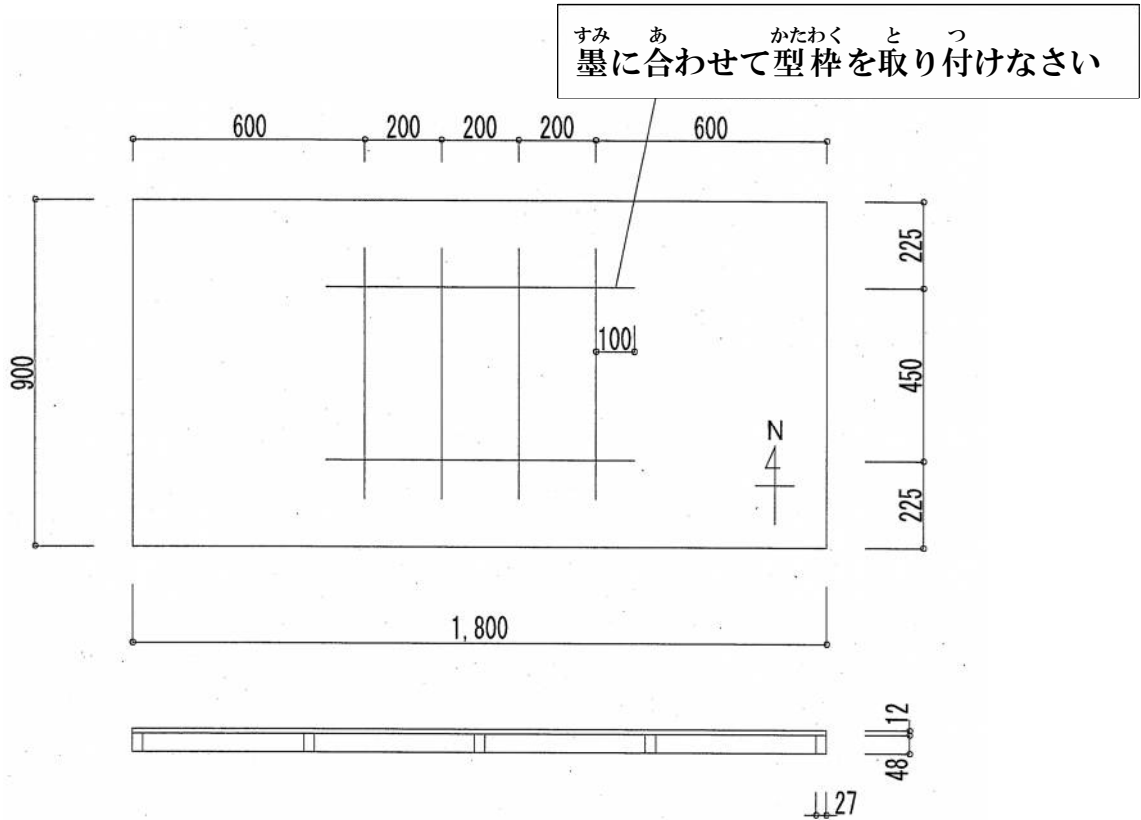
1-5-1 受験者に貸与するもの（作業終了後に返却すること）と各自が用意するもの

品名	寸法または規格	数量	備考
墨出し用具	えんぴつ	2, 3本	貸与
さしがね		1	貸与
スケール		1	貸与
のこぎり（手のこ）		1	貸与
型枠ハンマー		1	貸与
くぎ抜き		1	貸与
作業服等		1式	各自が用意
保護帽		1	貸与
飲み物	水分補給のため	必要な量	各自が用意

1-5-2 試験場に準備するもの

品名	寸法または規格	数量	備考
型起こし台		1	
作業用角材	90×90×800程度	2	栈木を切るときに使用しなさい
紙コップ等の入物		必要な量	くぎを入れておきなさい
清掃用具		必要な量	

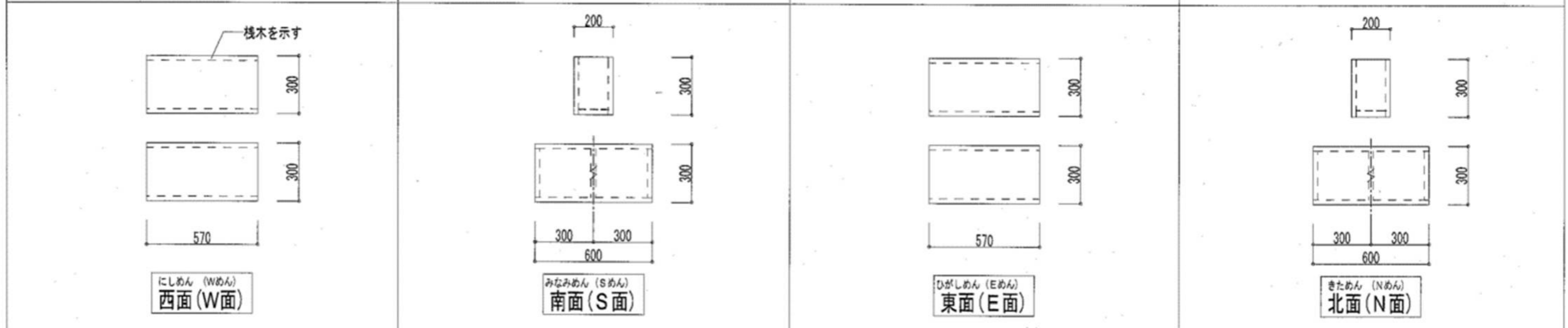
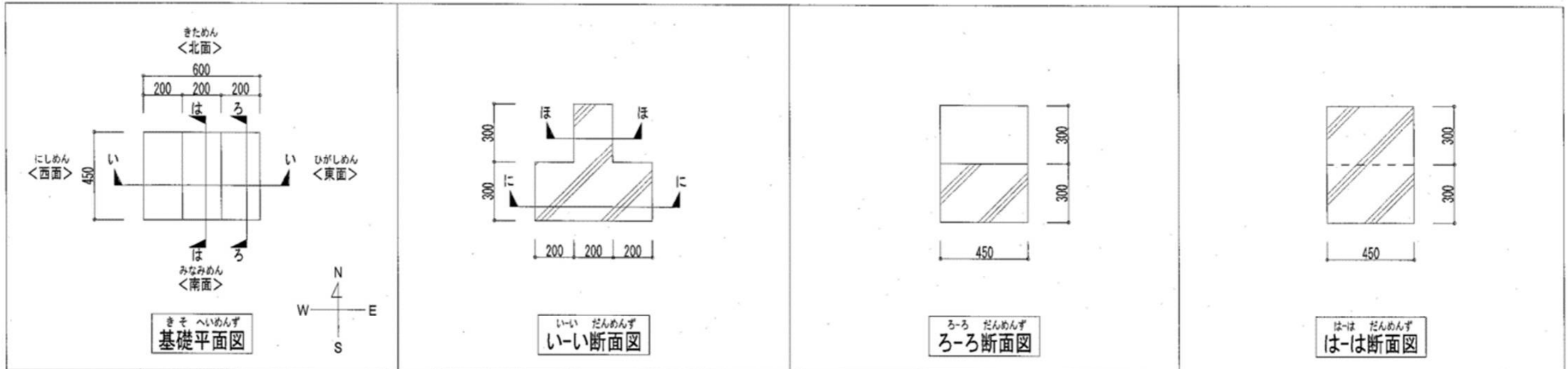
1-5-3 ^{かた お だい}型起こし台



1-6 ^{かだいず}課題図

^{かだいず}課題図は別の紙 (^{べつ かみ}別紙) に書いてあります。^{かだいず}課題図の図面をよく見て^{みくた}組み立て作業^{さぎょう}を^{ずめん}しなさい。

べっし かだいず
(別紙) 課題図



かたわく かこうず こんくりーと きそ のうちがわ から みた ず
型枠加工図 (コンクリートと基礎の内側からみた図)

